

溶接技能者評価試験 受験の注意および安全心得

注意事項

- ・ 指定された時間に受験票を忘れず遅れないように、余裕をもって集合し点呼を受ける。
- ・ 点呼後、受験についての説明があるので、その指示に従うようにする。
- ・ 試験開始後の貸借はできないので、学科試験受験者は筆記用具を用意する。
- ・ 受験者同士の工具の貸借もできないので、忘れ物がないか必ず確認してから実技試験会場に入る。
- ・ 使用工具は乱雑にならないように、常に整理整頓に心掛ける。
- ・ 半自動アーク溶接機は、会場への持ち込みなので運搬、積み下ろしには十分注意し、設置の際は機器の取り扱い、各部の接続を確認する。

学科試験、実技試験を通し、不正行為が行われた場合は失格となるので注意事項を良く聞き行動をする。

安全心得

- ・ 溶接作業に適した服装とし作業帽および、保護具の着用を忘れずに行う。
 - 保護具として・・・保護眼鏡・皮製手袋・前掛け・安全靴・足カバー
 - ・ 必要に応じて腕カバーを用意する。
特に姿勢溶接（立向き・横向き・上向き）受験の場合。
 - ・ 遮光面（ハンドシールド、ヘルメットシールド）シールド面の遮光プレートは9番～11番の使用が望ましい。
 - ・ 防塵マスク
- ・ 試験材の加工にグラインダー・ヤスリ等を使用するので、周囲に十分注意し作業をすること。
- ・ 各層終了後スラグの除去を行うが、スラグの飛来による目の傷害、ヤケドを未然に防止するため、保護眼鏡を使用するとともに、皮膚を露出させないことが大切である。